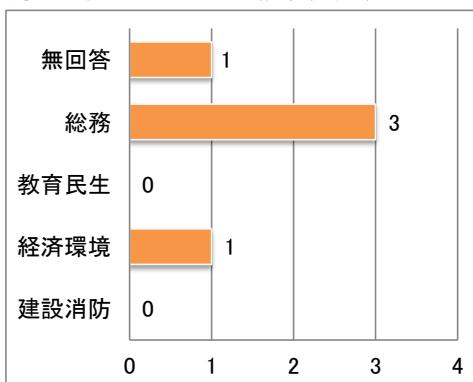


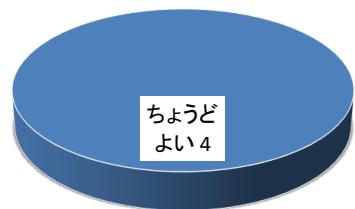
令和7年度香川大学生との意見交換会 アンケート集計結果

参加人数：18人（アンケート提出人数5人(紙2人、Web3人)）

問1 参加グループ（委員会別）(人)



問2 意見交換の時間 (人)



問3 参加人数 (人)



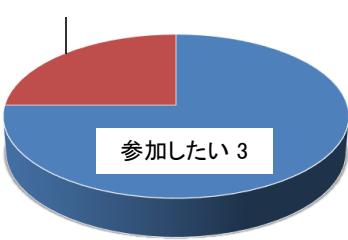
問4 意見交換会のテーマ (人)



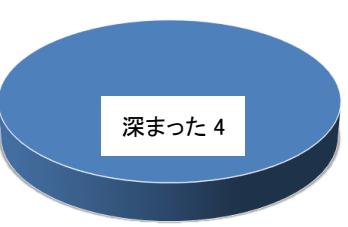
問5 満足度 (人)



問6 次回の参加希望 (人)



問7 政治・議会に対する理解 (人)



問8 市政について、どのような関心があるか。どのようなことを議論したいか。

- ・私自身地元の商店街などを見ていると、高松市の商店街がとても羨ましく映っています。そこで、高松市の商店街がいかに成功の道を歩んできたのか。ひいては地方創生をいかに進めいくのかを議論したく思っています。
- ・外国人労働者の受け入れや、インバウンド促進について関心があります。少子高齢化で人口が減少しているので、どちらも重要な施策だと考えます。ただ、地元住民の理解を得る事が大切だと考えるのでその部分に関して議論をしたいです。
- ・少子高齢化について(県外に出来る若者)
- ・どのような子育て制度や、福祉制度が行われているか

問9 感想・議会に対する意見等

- ・委員会での先生方からのご発言にもありました、実際に議会がどのようなことを決め、どう言った議論が繰り広げられ、実際に実施をしているかがあまり市民に伝わっていない印象です。そこでこうした課題に対し、SNSなどを用いた広報活動が有効的だと考えています。
- ・初めて、議員の方々とお話をしました。以前まではお堅いイメージが先行していましたが、温和でかつ対話のプロだと感じました。また、市政を第一に考える姿勢が伝わってきて一市民、県民として非常に信頼できる方々だと感じます。貴重な機会を設けていただきありがとうございました。
- ・とても話しやすい雰囲気づくりを行っていただき、ありがとうございました。
- ・議員のみなさんがとてもフレンドリーな雰囲気で進行して下さったので、話しやすく、楽しく意見交換ができました

問10 高松市が住みやすい魅力ある都市となるためには、どのようなまちづくりをしていくべきか。

- ・市民と政治の距離が近い街こそ望むべき姿だと思っています。助けを政治に求められ、その痛みを取り除く姿こそ民主主義の根幹だと思っております。市民1人1人の声に寄り添うことはもちろんですが、ため息一つ聞き漏らさないことこそ、政治のあるべき姿だと私は感じています。私は第二の時間を過ごした思い入れのある高松市がそんな都市であって欲しいと願っています。そうすることで自ずと、日本はもちろん、海を越え世界に誇れるまち、高松市になると確信しております。
- ・市民との対話を重ね、まちづくりをすると良いと思います。市民の方々の小さな気づきには、市政を変える力があると考えます。その様な、市民の声を拾えるまちづくりをして頂きたいと個人的に考えます。
- ・高松に残りたいと思えるような活発でにぎわいのあるまちづくり
- ・もっとたくさんの人と交流ができ、優しい雰囲気が増したりすればもっといいなと思います